

ヤマトチョウ

山都町

総人口…12,401人 男…5,937人 女…6,464人 世帯数…5,071世帯
〈人口構成比〉 15歳未満…8.6% 15～64歳…37.9% 65歳以上…53.5%
※データは令和6年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。



坂本 靖也 町長

山都町は九州のほぼ真ん中に位置し、大自然に囲まれた中山間地域の環境や冷涼な気候を活かした農林業が基幹産業であり、特に有機農業においては、有機JAS認証登録事業者数は日本一の数を誇っています。また、昨年度は「通潤橋」の国宝指定や九州中央自動車道「山都通潤橋IC」が開通するなど、今後の観光活性化が見込まれます。この好機を捉え「SDGs未来都市」としても、持続可能な『山の都』づくりに取り組みます。

寄附御礼

- ・贈呈式開催(首長出席、寄附額200万円以上)
- ・感謝状贈呈(寄附額200万円以上)
- ・地公体広報誌掲載
- ・HP掲載
- ・視察受入
- ・功労者表彰推薦
- ・紺綬褒章推薦(寄附額1,000万円以上)
- ・その他

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

1

カテゴリー2 過疎対策・定住移住

活気あふれる山の都づくり

全国的に地方の過疎化が進む中、山都町も人口減少による少子高齢化問題が深刻化しており、町の基幹産業である農業においても、高齢化や担い手不足等により農業従事者が減少しています。U・I・Jターン者を含め、交流人口の拡大や関係人口の創出を図り活気あふれる山の都づくりを目指します。



国宝に指定された通潤橋

2

カテゴリー6 観光客の誘致・地域PR

山の都の伝統文化を守り繋ぎたい

約260年の歴史がある「八朔祭」は、五穀豊穡を願い開催され、自然の材料のみを使って制作する巨大な「大造り物」は特に有名です。また、起源は約450年前の永禄6年ともいわれる「火伏地蔵祭」、日本神話の神様にささげる歌や踊りを幻想的な世界で表現した「神楽」などが地域に根付き、代々継承されてきました。しかし、高齢化や人口減少により担い手が不足しており、これらの伝統文化の存続が危ぶまれています。



八朔祭の大造り物

山都町まち・ひと・しごと創生推進計画

持続可能な山の都づくり

基本目標1

魅力ある産業振興により若者雇用を促進する

新規就農希望者への支援や、地域リーダー育成へ取り組み、サテライトオフィスを活用した企業誘致や産業の活性化により雇用の拡大に取り組みます。

基本目標2

都市部とのつながりを強化し、人の流れを創る

住環境の整備や、移住相談窓口「山の都地域しごとセンター」の設置により、移住・定住を支援するとともに、地域資源を活かして地域内外の交流促進につなげます。

基本目標3

山の都での結婚・出産・子育ての希望を叶える

結婚対策「悠&遊」事業により、結婚のきっかけづくりを支援します。また、喜びを感じながら子育てができるよう「子育てするなら山都町」に取り組みます。

基本目標4

ひとが集う魅力的な山の都づくりと安心安全な暮らしの実現

「地域でできることは地域で」自治振興区による地域づくり活動への支援や、子どもから高齢者まで健康で生きがいをもった生活を送るための環境整備を進めます。

69

山都町

くまもと企業版ふるさと納税対象プロジェクト

重点プロジェクト

九州のへそ山都町にみんな集まるプロジェクト

〈SDGs〉関連するゴール

11 住み続けられるまちづくりを

総事業費

23,250千円 寄附目標額 —

数値目標

●移住者数 …………… 27人/年 → 27人/年
●空き家の活用件数 …… 60軒 → 累計110軒

山都町の魅力をアピールし、U・I・Jターン者を含めた交流人口の拡大や関係人口の創出を図り、誰もが「住みたくなる」「住み続けたい」まちづくりを進めます。具体的には、定住を希望される方への空き家情報の紹介、移住に向けて必要な調査や準備を行うための短期滞在施設の貸し出し、空き家の改修や住宅取得に関する補助など、移住・定住を促進し活気あふれるまちを目指します。



移住交流会の様子

寄附の具体的なメリット

寄附を行うことで、企業名が山都町のホームページに掲載されますので、中山間地域の課題解決に積極的に取り組む企業としてイメージアップにつながります。

重点プロジェクト

山の都の三大祭応援プロジェクト

〈SDGs〉関連するゴール

8 働きがいも経済成長も

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナリープで目標を達成しよう

総事業費

15,200千円 寄附目標額 —

数値目標

●観光入込客数 …… 508,257人/年 → 1,000,000人/年

山都町には、約260年の歴史がありすべて自然の材料を使い制作する「大造り物」が有名な「八朔祭」、日本を代表する伝統芸能の一つである人形浄瑠璃の上演が行われる「清和文楽の里まつり」、300年以上も続く歴史ある「火伏地蔵祭」を『山の三大祭』と呼んでいます。これらの伝統文化の技術は次世代に残すべきものとして継承すべきであり、その価値を県内外に発信することも重要です。また、三大祭を通じた地域振興、交流人口や関係人口の増加を図ります。



火伏地蔵祭の様子

寄附の具体的なメリット

- 山都町ホームページでの企業名の掲載によるPR効果
- 地域課題解決への貢献によるイメージアップ
- 山都町との新たなパートナーシップの構築

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。

70